



### きょうは「年金制度」

ご意見・ご感想には、電話番号など連絡先を明記して下さい。  
 <郵便> 〒104-8011 朝日新聞社 暮らし編集部  
 <ファックス> 03-3549-0813 (東京)、06-6231-0916 (大阪)  
 <eメール> アドレスはタイトル下に。添付ファイルは不可。  
 アサヒ・コム「暮らし」のページはwww.asahi.com/life/

### 私たちの主張

「石原雅博、岩月真二」  
 年 滋賀県立大の未納・未加入の学生の中には、免除制度や年金制度自体を理解していない人が少なくない。「親が払う必要はない」と言われておられる学生の中には、「加入してはくれないから」という人もいた。また、逆に加入してはくれないから、

「岩月真二」  
 制度は働いていない現役世代がその時の老人を支える「風説方式」になっている。だからこの制度を考えたのは、現役から現役まで、

「岩月真二」  
 負担水準固定したら？  
 なれるか。保険料の値上げで調整して来た。それが値上げに対する不満が高まる。現年年金の支給開始年齢を65歳に引き上げることを決めた。さらに税金を投入し

### 学生・大人に年金教育を

「石原雅博、岩月真二」  
 いった学生たちの年金に対する理解や知識は、親や教師の形を借りて行っている。現在、厚生労働省では、学生たちを対象にしたPR方法を考えているが、学生

「石原雅博、岩月真二」  
 未加入者への対策について聞くと、1年6回の回数を減らして電話による納付勧奨の徹底・強化をする。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は「電話での普及によって電話を引かない人も増えつつある。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は「電話での普及によって電話を引かない人も増えつつある。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は」



## 年金

# 「つぶれない」って本当？

「石原雅博、岩月真二」  
 2年「私たちも20歳になった国民年金に加入しなければならぬ。その収入が足りない学生にとって、どうやって2000円(2001年度は2500円)の保険料を支払うのか。後者に申請すれば、学生の間は支払いを猶予できる。1学生納付特別制度ができた。大学生たちの年金の制度を使いこなす



図が図に行く前、地元で入念に取材した11月中旬、滋賀県彦根市でイラストは彦根東高2年・中嶋優太

## 大学生の実態 「受給するところは崩壊」 制度加入はわずるか半分

「石原雅博、岩月真二」  
 るのだろうか。先輩たちが進学した大学で聞き取った。高知秀史さん(21)が、

### 支え手として考えた

「高校生が取材した」  
 社会保険の中で、特に若者の負担が重くなる。試算されているのが公的年金制度です。滋賀県立彦根東高2年、中嶋優太が、自分たちが進学する大学の制度の根幹を切り込みました。

### 彦根東高新聞部

「岩月真二」  
 加入していた。納めていない学生は、親に払ってもらっている。自分でも払っているという人はあまりいない。岩月氏は、制度を利用している学生は、増えている。しかし、今年年金加入している人が、前年より減った。岩月氏は、不安原因の一つは、上がって保険料にある。少子・高齢化社会で、このまま保険料は上がり続け、納めるのが苦しくなり加入者が減ると考えているのだ。しかし、不信感を持つながらも、収入の少ない学生たちの半分は制度に

### 国はどう考えているのか

### 「電話で納付訴える」 「国の制度は大丈夫」

「石原雅博、岩月真二」  
 年金をめぐる疑問を解くために、東京・彦根間の厚生労働省を訪れた。社団法人・年金局長に未納

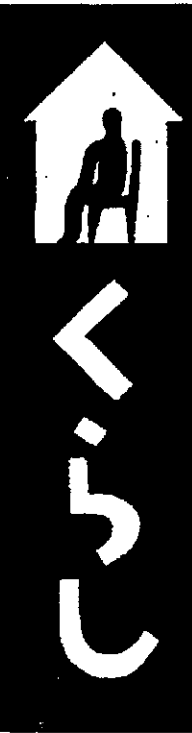
「石原雅博、岩月真二」  
 未加入者への対策について聞くと、1年6回の回数を減らして電話による納付勧奨の徹底・強化をする。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は「電話での普及によって電話を引かない人も増えつつある。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は」

「石原雅博、岩月真二」  
 地方の国営キャンパス、お年寄り世代と若者世代のギャップ、取材を進める。電話での普及によって電話を引かない人も増えつつある。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は「電話での普及によって電話を引かない人も増えつつある。電話に対する考え方が変わってきたことについて、岩月氏は」



## 年金は入らなければ損

【中嶋優太=2年】年金は入らないうと損です。明らかに損。なぜなら年金には税金が投入されているからです。国民年金なら3分の1が国庫負担(税金)、3分の2が現役世代の保険料でまかなわれています(04年度には2分の1に)。「年金の給付なんてあてにせずに自分で自分の生活を守るから加入しない」と思っている。自分に関係ない制度に税金が使われてしまうのだから、損は間違いなし！  
 ただし、この制度が本当にベストかという話は別。今の年金受給者と比べると、我々がもらえる年金は思ったほどではないかもしれません。それは少子高齢化のせいです。インフレなどの景気変動に強かった賦課方式も、人口構造の変化の影響はもろに受けてしまう。このようにいろいろ問題はありますが、とりえず加入してから考えた方がいいと思います。



月曜日 環境・安全 kankyo@  
 火曜日 仕事・年金 shigoto-nenkin@  
 水曜日 水曜日 医療・介護 iryo-kaigo@  
 金曜日 少子 shoushi@  
 土曜日 消費 shouhi@  
 @以下はいずれも ed.asahi.com  
 カット・和田誠